

3-2 データを守る上での留意事項

データを守る上で知っておくべきこと

データを守るための原則

- 機密性：許可された者だけが情報を利用できること
- 完全性：情報が改ざんや消去されておらず、正確であること
- 可用性：必要なときにいつでも情報を利用できること

データを守るための方法

- 暗号化: 平文を意味のない文字列(暗号文)に変換すること
- 匿名化: 個人を識別できないようにデータを加工すること
- 認証
 - 知識認証: IDやパスワード
 - 生体認証: 指紋や声紋など
 - 所持認証: ワンタイムパスワード, 携帯電話のSMSなど

セキュリティ事故

- 不正アクセス: アクセス権を持たないユーザの不正侵入
- マルウェア感染: コンピュータウイルスの一種
- 誤操作: メールを間違った相手に送ることなど
- 紛失: USBメモリやPCの紛失
- 盗難: 個人情報情報を保存した記録媒体などの盗難

参考文献

- 吉岡剛, 森倉悠介, 小林領, 照屋健作: AIデータサイエンス入門, 技術評論社(2022)
- 伊藤大河, 川村和也, 内田瑛, 河合麗奈: 大学基礎データサイエンス, 実教出版(2023)
- 東京大学 数理情報教育研究センター,
http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium2/pdf/3-12_literacy_level_note.pdf